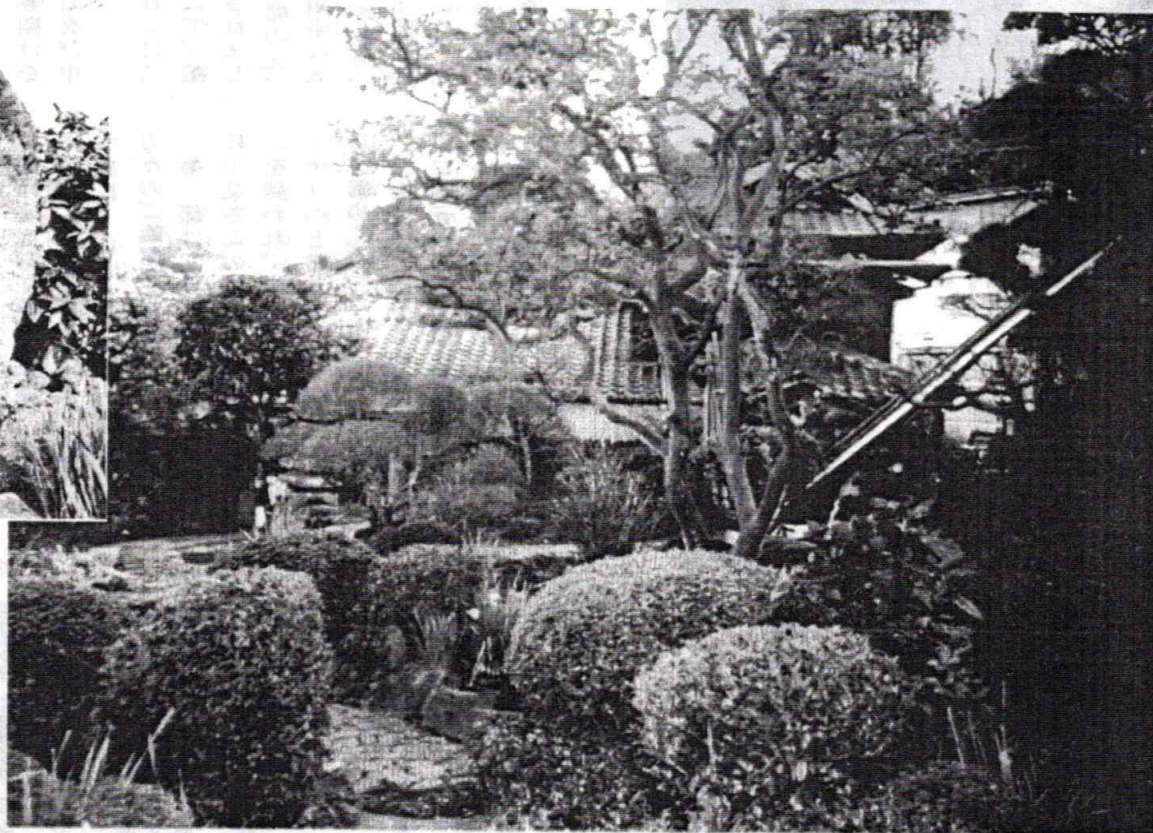




熱海 雙柿舎



石の上にも三年、やっと軌道に

会長 大西 幸夫

東村山稲門会は設立後三年が経過しました。俗に石の上にも三年といいますが、設立当初、不安でいっぱいですが、スタートでしたが、役員の皆様および有志会員の協力により、会運営の基礎となる毎月第一土曜日の役員会および同日発行の東村山稲門会ニュースが着実に実行され、軌道に乗ってきました。会員各自がそれぞれ興味もてる活動に参加できるようにと設立した同好会活動も十を数えるようになりました。登録会員数も初年度の192名が現在231名と着実に増加してきました。地域、東村山市の文化向上に寄与し開かれた稲門会にとの意向で、東村山雑学講座と名称変更して一般公開とした講演会は未だ一般市民の参加が多いとは言えないが、校友会活動の壁を破る試みとして推進してゆくつもりです。

今、母校早稲田大学では設立一二五周年に向け記念事業を成功させるべく実行資金の調達のため、募金活動の展開を始めました。当東村山稲門会ではこれに協力するため、会員各自が年千五百円、七年間積み立てて寄付することを昨年十一月の総会で提案し、了解して頂きましたが、大学当局が予定している金額は、全国の稲門会が同様の規模の活動をしていても充分ではなく、大学から全卒業生あてに寄付の依頼があると思いますが、意のある方は会での積み立てのみでよしとせず、別途、寄付を考慮することをお願い致します。平成十二年はJCO臨界事故、神奈川県警の不祥事隠蔽、音羽町幼児殺害など暗いニュースの続発した年でしたが、明るい稲門会、東村山市を目指し頑張っていきたいと考えて居ります。

目次



総合学術情報センター

会長挨拶	会長 大西幸夫	1
総会報告	幹事長 木谷 肇	2
コラム「進歩無し」	谷城長治	2
新世紀にふさわしい大学の構築へ	早稲田大学総長 奥島孝康	3
早稲田ニュース	事務局	3
コラム「一瞬の絵画」	水野 要	3
座談会「稲門会はどうあるべきか」		45
長井治・高橋一夫・戸田志郎・渡辺隆行・高木雅・木谷勇介・伊藤友己(同会)		
ポストマンくぼりある記(1)	江藤昌明	5
総会パトロール	小野 智	6
現代就職事情と学生気質	早稲田大学就職課長 崎山裕子	6
寄稿「人間らしさ」	多田 実	6
同好会訪問(1)	囲碁将棋 鈴木国夫	7
	山とハイキング 土橋雄次	7
寄稿「西洋文化から郷土史へ」	中村真弓	7
ショート SHORT	岡原裕泰・佐藤清彦・長谷川学	8
事務局のお知らせ	事務局	8
梅だより	堀見之一	8
編集後記	スタッフ	8

総会報告と雑感

地域密着と新規会員を期待

幹事長 木谷 肇

先ず、新ミレニアムの幕開けを皆様と迎えられたこと、お喜び申し上げます。

さて、去年十一月二十日（日）、

東村山市民センター別館にて、第四回当稲門会総会が挙行されました。当日は約八十名の出席の元、第一部は会長挨拶の後、議事に入り過年の事業と会計報告があり、次に今年度の活動計画と予算案が承認されました。この内には、来る二〇〇七年迄に積立てる母校早稲田大学百二十五周年募金も含まれています。来賓として、校友会

本部の安宅常任幹事の挨拶、近隣稲門会より東久留米、小平、清瀬、小金井、立川、武蔵野の代表の方々の臨席を頂きました。

第二部は、我等が同窓の落語家桂小文さんの高座に耳を傾け、笑いを誘われ、第三部の夜の懇親パーティへと盛り上がり、初冬の一日を締めくくったのでした。

当会は未だ十分な組織ではなく更に地元への密着度を高めて行きたいと考えています。未知の方々の新規参入を期待し、協力をお願いする次第です。



和気藹々の総会風景



■99年度 活動計画

1. 総会の開催
2. 役員会の開催
原則毎月第一土曜日、午後2時より
3. 市民センター会議室
(於) 市民センター会議室
の開催
例会は奇数月、原則第一土曜日、午後3時より
(於) 市民センター会議室
講演会(雑学講座)は文化教育環境をテーマとし、原則例会時2ヶ月に一度程度。
懇親会は例会の後、午後5時より場所適宜
4. 新規会員の加入勧誘促進
分科会(同好会)活動
新規同好会の設置促進
既存の同好会の活動活性化
会員名簿の発行
会報およびニュースの発行
会報は年一回、1月発行予定
ニュースは原則毎月
花見会(春) 納涼会(夏)の実施
早稲田大学125周年事業への協力

■98年度 会計報告

収入の部		単位:円
前年度からの繰越金	326,373	
年会費	661,500	
総会懇親会費	390,000	
// (同伴者)	12,000	
総会祝金	30,000	
組織強化補助費	150,000	
寄付・通帳利子等	6,787	
合計	576,660	
支出の部		単位:円
会場費(総会、月例会)	36,020	
講師謝礼	38,500	
事務通信費	126,695	
会報・ニュース等制作費	295,413	
事務用品費	96,516	
他会への参加費	50,000	
総会懇親会費(98/11/24)	350,000	
同好会補助費	80,000	
大学125周年募金	30,000	
その他雑費	165,167	
次年度への繰越金	308,349	
合計	576,660	

東村山稲門会役員

会長	大西 幸夫 (昭和30年理工)
副会長	久世 利夫 (昭和22年政経)
幹事	三宅 良太 (昭和36年商)
幹事	木谷 肇 (昭和42年商)
幹事	井垣 和太 (昭和37年商)
幹事	伊藤 友己 (昭和51年政経)
幹事	井原 徹 (昭和44年法)
上	幸雄 (昭和47年教育)
江藤	昌明 (昭和27年政経)
久保	栄二 (昭和46年法)
☆小島	雄雄 (昭和34年商)
☆田口	政澄 (昭和36年理工)
土橋	雄次 (昭和35年理工)
当間	昭治 (昭和43年法)
長井	治 (昭和29年法)
☆田中	和夫 (昭和53年理工)
山下	邦康 (昭和36年教育)
会 計	☆高柳 剛 (平成3年社学)
会 計	崎山 裕子 (昭和52年教育)
会計監査	堀見 一之 (昭和25年理工)
事務局	岡原 裕泰 (昭和39年文)
事務局	事務局員 小島 雄雄
事務局	事務局員 (二十名) 〇〇〇

「進歩無し」

谷城 長治

昭和四一年私は貧乏生活の真っ只中で有った。前年に長女が生まれ、私の安月給の半分は家賃に消えると云う様な状況で有った。その年の夏に会社の隣の空地にゴルフの練習場が出来た。社員は半額

と云う事もあって、俄にゴルフ熱が高まり始めたのである。その年の暮れに悪魔の誘いが私にも廻って来た。ゴルフ道具も無ければ買う金も無いと断り続けたが、常務から俺の中古一式譲ってやるの一言で陥落し、ゴルフを始める破目になってしまった。最初のハーフを六十五で廻って上出来だと誉められた事が、今日預金が無い原因

で有る。以来三十三年間に訪れたゴルフ場は北海道九州は疎か米國豪州に迄及びその数百五十七箇所ゴルフに行った回数忘れられてしまった。腕前はさぞやと思われるかも知れないが、十一月の月例コンペで前半のハーフ六十三も叩いて、筆下し時の実力を未だ維持して居る事を、見事に証明した。ああ情けない。

(S37・商)



東村山稲門会の皆様、この度は会をあげて創立125周年記念事業募金にご支援くださることを決めていただき誠にありがとうございます。会員の皆様が一丸となって会の運営に力を尽くされ、さらに母校に対しご支援、ご協力をいただけることに心から敬意と感謝の意を表します。

早稲田大学では、「グローバル・ユニバーシティ」の方向性のもと、アジア太平洋・メディアネットワーク・生涯学習の三つをコンセプトに大学改革を推進してまいりました。

今後も引き続き本テーマを中心に全力を尽くす決意であります。が、これらに加え、早稲田らし

早稲田大学創立125周年記念事業によせて



新世紀にふさわしい大学の構築へ

早稲田大学総長 奥島 孝康

「世のため人のため」となる研究と教育を強化し、文化面にも社会的にも志の高い大学を目指すため、新たなチャレンジを続けたいと考えております。

さて、早稲田大学は大隅さんの「人生125歳説」にちなんで

③大隅講堂の新しい時代への再生、④プロジェクト型研究所の設置、⑤創立125周年記念チャエア（冠教授・冠講座）の設置、⑥奨学金制度の充実、⑦博物館史料の充実と電子化、⑧雑誌センター・電子図書館の設置、と

産や文化を地球社会へ提供する新世紀にふさわしい大学の構築に取り組んでいくための事業であります。結果が出るには時間がかかり、校友の皆様には何かと心配をおかけするかもしれませんが、10年後、20年後には

創立125周年となる2007年を早稲田大学第二世紀の幕開けとなる記念すべき年と位置付け、様々な記念事業を計画しています。その概要は、①インテリジェント教育研究棟の設置、②新学生会館（仮称）の建設、

いう8つの柱からなっています。これまでの取り組みが確実に結実いたします。皆様の心の故郷に「ご期待をいただきます」とともに、稲門会はもとより、個人のお立場におかれましても、ますますのご支援・ご協力をお願い申し上げます。

③大隅講堂の新しい時代への再生、④プロジェクト型研究所の設置、⑤創立125周年記念チャエア（冠教授・冠講座）の設置、⑥奨学金制度の充実、⑦博物館史料の充実と電子化、⑧雑誌センター・電子図書館の設置、と

産や文化を地球社会へ提供する新世紀にふさわしい大学の構築に取り組んでいくための事業であります。結果が出るには時間がかかり、校友の皆様には何かと心配をおかけするかもしれませんが、10年後、20年後には

WASEDA NEWS

■創立125周年記念シンボルマーク決定
全国から283作品の応募の中、人間科学部卒業の堀内 有為子さん（東急エージェンシー勤務）の作品が最優秀賞に選ばれ決定。

■大隅講堂が東京都歴史的建造物に選定
昨年4月、「大隅講堂」と「旧図書館」が東京の歴史・文化を象徴する建物として選ばれた。125周年事業のひとつに講堂の改修が予定され、時計塔等の外観・鐘や時計を文化財として保存、文化の発信拠点として相応しい多機能文化ホールを目指す。

■小惑星「WASEDA」誕生
早大天文同好会OBの平澤正規、鈴木正平さんが91年10月に発見した小惑星が国際天文連合から正式に新惑星として認定された。お二人はこの星を「WASEDA」と命名、9月17日に命名額を大学に寄贈されました。

■人間科学部特別選抜試験及びスポーツ推薦入学試験合格者が決定
人科特選50名とスポーツ推薦入学試験20名の合格者が一般受験生より一足早く決定。野球 清水大輔/ラグビー 太田尾竜彦/陸上 五十嵐毅/サッカー 庄堂裕也/レスリング 長島和幸など。

■国家公務員一種試験合格状況
①東大 368 ②京大 166 ③早大 76
④東北大 62 ⑤慶大 56 ⑥九大 45
⑦北大 40 ⑧東工大 38 ⑨阪大 33
⑩名大 26

一瞬の絵画 朝日色で 染め冬の山と海

水野 要

日ノ出の富士山を紅富士と言われているが、立山連峰・剣岳からの朝日は積雪を紅く染めるだけでなく、剣独特の鋭い縦に切り込んだ黒色の岩肌を怪しげに混色し、山脈全体が紅い屏風となつて前に倒れるようにのしかかります。それだけではありません。太陽光線が三〇〇〇mから一挙にゼロの海面まで走ります。それは一瞬です。それから動かしないうち朝日に拘わると海面の色変化を見落とします。地元の人達もその美しさをあまり知りません。寒風の中で「ヤリイカ」釣りに出かける者だけの特権です。さらに、日中は澄んだ空気と雲一つない真っ青な空に白くきらきら輝く山々に見とれて世知がらこの世を忘れたい。

県外者の横見運転で事故が多発する季節でもあります。しかしその幸運者は冬の快晴日に限られます。「絵画同好会」の方々の絵筆で勝負できますか。雄大なこと紅富士なんか問題外です。しかし私は実は紅富士を見たことはありません。

まずは「心の故郷」として

異業種交流の役割も

西暦2000年 東村山稲門会も四年目を迎え、同好会活動を中心に毎月精力的な活動が続けられている。

そんな中で今回我々は、「稲門会とは何か」「そのあり方や役割」と言う素朴ではあるが、聊か皮肉的な問いかけを試みることにした。

司会 まず稲門会とは何かということ
で、イメージをお聞かせ願いたいと思います。

木谷 私の感じとしては、同じ大学を出た人達が親睦を深める団体ということで、大学の中では異単位の稲門会が目につきますが、何かあったときの連絡先というか、互助会的なものという気がします。

高木 同じ地域に居て、同じ大学を卒業したという意識で繋がっている人達の集まりというのがイメージです。

でも、私は応援部に居たので稲門会に呼ばれて行くことも多かったのですが、何でもこんな位と思う位若い人が居なかったですね。

長井 私の関わりはサッカー部を通してです。大学から少し違いますね。私の若い頃は、学生は学生、稲門会は稲門会で爺さんの集まりという感じでした。

高木 学生達で地方から来られた方で、例えば遠州稲門会の様に集まって親善を計っている団体もありますよ。

方と役割を問う



(左から 高木・長井・渡辺・伊藤・木谷・戸田・高橋の各氏)

渡辺雅行 平10文
高木 舞 平10人科
木谷勇介 政経2年在学
伊藤友己 昭51政経

司会

司会 殆どの方が卒業してから稲門会と関わりを持つ事になる訳ですね。

ところで、東村山稲門会は出発は遅いのですが、そのわりには非常に活発な活動をしていると思います。その要因の一つにサービズ活動が有ると思うのですが如何でしょうか。

高橋 私などはサークルが無ければ稲門会に入らなかつたと思います。私は他でもテニスをやっていますが、早稲田の卒業生という繋がりの中で出来るというのも又別の楽しみですね。

戸田 私も学生時代に戻ってサークル活動をしているような気がします。稲門会に入って良いのは色々な経歴、知識を持った方と知り合いになれることです。私は校歌の中の「心の故郷」という言葉が好きなんです。稲門会が「心の故郷」の様な場として

有ってくれば良いと思っています。渡辺 私も山の会にでも参加したいと思っています。私が稲門会に入ったのは卒業してから地域との繋がりを持っていたという思いからです。

高木 私は早稲田カードを作ったのがきっかけで、気が付いたら校友会から稲門会へと入っていたんですが、まだまだ自分のしたいことが一杯あるのでサークルが有っても積極的に関わられる状態にはないと思います。

司会 現役の木谷さんならいくつになつたら稲門会に参加するだろうと思いませんか。

木谷 多分40を過ぎてからでしょうね。共通の話題が無いとツライですね。
司会 地域の稲門会としてこんな事をしてみたらと言う事がありますか。地域に対する貢献とか。

「早稲田」ファンの育成も大切

木谷 周りに働きかけると言うのは想像し難いですね。本来仲間内の意識で出来上がっていますから。

渡辺 活動を通じてお互いを理解しながら方向を見付けていくしかないでしょうね。

戸田 40前に稲門会の活動に関わるのは難しいでしょうね。皆さん企業戦士として活躍していますから。

高橋 地方の稲門会では、異業種の交流の場という性格も有りますね。そういう所では若い人が結構中心になつ

ていて、仕事の為のネットワークや情報交換の場になっています。東村山ではチョット無理でしょうが。

長井 もう少しOBが早稲田という事をアピールしてもいいじゃないかな。例えばOBの子弟を集めてサッカー教室やテニス教室を開いて、早稲田早稲田って吹き込んでやう。大学も学生集めに困っているんだから。

司会 木谷さんもお父様に吹き込まれた口ですか？

木谷 まあ、そうかもしれません。(笑)

稲門会、そのあ

三代トーク 座談会



出席者（敬称略）

長井 治 昭29法
高橋一彦 昭42理工
戸田志郎 昭43法

「ハコ、もの」より ソフト・人材面での充実を

司会 大学へ協力と言うことで今回一二五周年記念事業に寄付することに
なりましたが、稲門会が組織的に集
金マシンの働きをする事には批判も
有ります。この辺りは如何でしょう
か。

戸田 寄付自体は兎も角、私は現在の太
学の在り方が問題だと思ひます。今
回の江沢民主席の講演会名簿の扱い
にしても、大学の見識を問われる問
題だと思ひます。早稲田は庶民的な
目線を持った大学というイメージが
有るんですからもうと早稲田らしさ
を大切にしたいですね。記念事
業と言うと建物とか派手な部分が目
立つ気がします。長井さんの言われ

高木 個人で寄付するのは大変ですから
稲門会で纏めて呉れるのは助かりま
す。本当に役に立ててくれれば良い
のです。

長井 大学に世話になって此処まで来て
来れたと思へば、親戚の還暦のお祝
いをしてあげると言う位の気持ちで
居れば良いんじゃないの。

本谷 目に見えて変わって行く部分と言
えば、校舎が綺麗になつて行くだけ
で、だからOBの方が寄付して戴い
ていることにも実感が湧きません。
人材面では慶応と比べても見劣りす
るんじゃないでしょうか。

高木 今度早実が共学になりますよね。
私は共学の付属を持たない所が早稲
田の良い点だと思つて居ましたので
何か裏切られた気がします。学生ス
ポーツでは、良い選手を獲得するこ
とに努力していませんね。それが早
稲田の良い点かも知れませんが。

渡辺 私の居た文学部では授業内容の面
でも随分変わつて来ました。福祉面
でのカリキュラムがとり入れられた

司会 何時までも早稲田を卒業したこと
を誇りに思える大学であつて欲しい
と思ひます。有り難う御座いました。

ポストマン くばりある記

① 廻田、多摩湖町、野口町の巻

江藤 昌明

稲門会ニュース等を会員宅へ配るだ
けで会のお台所が助かるのなら、市
内十三町のうち三町（野口、廻田、多
摩湖）くらい受け持ったとて稲門会の
為なら「エンヤコソ」。

一度家を覚えてしまえば効率のいい
コースを考えればよいので、大変そう
な顔をしながら、内心楽しく配つてま
いました。

多摩湖町は会員数が多いだけでなく、
市内で最も起伏が激しい土地で配るの
が骨が折れるところだ。ここに戸田志

普段は通らない道を、月に一回くらい
は自転車配るのも結構楽しいもので
す。

ところで、市内でポストマンのいな
い地区は、米町、本町のみ、誰か居ま
せんかネー。

(2007・政経)

総会パトロール

小野 智



桂 小文

タイタドキドキ アップングへの 不屈な期待

ある看板が微妙な動きを見せ始めた。余興が始まるや、心配していた看板が浮かれ出し、春風亭昇七さんの演じものが終わり、肝心の桂小文さんの落語公演中に浮かれ過ぎて落下し、出演者には申し訳ないことになってしまった。

参加者の殆どの方が看板が収納されるまでハラハラ、ドキドキ・ヒヤヒヤの心境だったと思います。

快晴に恵まれた十一月二十日、総会は市民センターにて開催されました。会場では幹事の方々が準備に向けて目まぐるしく動いていられる様子に有難く、又申しわけない気持ちでした。今回は幹事のご尽力で仲々確保できない別館の殆どのフロアーを利用でき、参加者の方々が移動なしで総会セレモニー後、同じ場所で開催が催されたことは最高殊勲でした。

ところが、総会が進行していく途中から演壇背後の壁に提示して懇親会の最中に各同好会の代表

者のスピーチがありましたが、同好会の活動報告は総会議事の中で小亀事務局長よりの報告もあり重複するのではと思う。幹事の方々によるご検討をお願いいたします。(本当のことを申し上げれば、アルコールと懇親に忙しく、スピーチなどは蚊帳の外なのではないかと思ひます。)会場には、同好会の勧誘を募るポスターが貼り出され、手作りで工夫のコピーや絵柄が面白かった。(S30・政経)



旧聞に属する話だが、平成九年十一月十九日、明治神宮野球大会決勝戦を観るため、神宮球場へと向かった。球場手前の日本青年館の前を通り過ぎようとして、ふと入口に小さな立て看板があるのが目に入った。次の瞬間、吸いつけられるように見入ってしまった。「文化庁企画第四十七回全国民俗芸能大会……」とあった。

先日、卒業生から手紙をもらいました。彼は3年前に卒業し、伸び盛りの通信業界に就職したのですが、大好きな北海道で働きたいと思い、道の学校事務上級公務員試験を受けて合格し、2年間勤めた企業を辞め、今は道東の小中併置校で働いているとのこと。ホームページで移住体験や北海道情報を発信しながら、仕事にやりがいを持って働いている様子。やれやれ彼も「大卒の3人1人」が3年以内に転職する「組か」と思いつつも、本音では、自分のやりたいことや価値観に忠実で、損得なしで現在持っているものを捨て新たな生き方に飛び込める思い切りの良さを羨ましく感じ、激励の年賀状を書きました。

景気低迷、産業界の大再編成、企業の生き残りを賭けたリストラの中、

二日の大会会場へ足を運ばせることになった。思えば昭和三十年以来、実に四十二年ぶりのことであつた。

現代就職事情と 学生気質

早稲田大学就職課長 崎山 裕子

学生にとって厳しい就職環境は続いていきます。企業は少数精鋭の厳選採用を行い、求める人材も「明るく元気が一番」という大らかさは薄れ、自分の意見を持ち、自分から行動し、リーダーシップがあり、失敗にもへこた

僕自身、民俗芸能に格別の関心がある訳ではないが、こうした催しが関係者の努力で地道に続けられていることに敬意を表せざるを得ない。ここに中心となって支えてくれた本田安次教授(現早大名誉教授・文化功労者・九十三歳)が、いまも元気で活躍なのは嬉しいかぎりだ。人間らしさが失われつつあるといわれる昨今、後継者問題などの課題はかかえていても、民俗芸能が風土に育まれ、多くの人々の心をひきつけ喜びや慰めを与えてきたことを考えると、この大会の意義は大きいのではないか。こしは第五十回の記念大会となる。(S302・教育)

人間らしさを

多田 実

みなさんやっていますか！

囲碁将棋同好会

鈴木 国夫

当会は、昨年八月に誕生したばかりで、三回の会合を終えて、やっと歩き始めたところです。

囲碁はルールが難しいので、突付き難く集りが悪いかと思いましたが希望者は二〇名を超えました。それに比べると将棋は参加者が少なくというのが現状です。

囲碁も将棋も歴史が古く、「続日本紀」には、大伴宿弥小虫と中臣連東人が碁が原因で争いを起したと書かれています。

千年以上も続いているだけに、ゲームとは云え、やればやる程、その奥行きと味わいの深さに打たれます。

年齢にも、男女の区別にも関係なく楽しめますし、頭の体操にも

なりますので、奮ってご参加下さい。

今年の目標は、①有段者全員で初心者の指導に当り、会員層の拡大と全体のレベルアップをはかる。②有段者の棋力を認定して、出来るだけ早く、優勝者を決める大会を行う。③他の稲門会等との対外試合を行う等を考えております。

課題は、場所の設定と、碁盤・将棋盤等用具の確保です。場所は江藤会員の尽力で隔月の土曜日に市民センター別館を確保して貰い、碁盤等は、江藤、久世、小亀、鈴木の各会員が用意しています。碁盤五面、将棋盤二面にすぎずとくに囲碁は参加が十名超える、残った人は観戦に廻ってしまいますので、盤をお持ちの方のご協力をお願いします。(次回の会合は二月二六日です)(S35・法)

世話人電話番号(三九四)二〇五二

同好会 訪問記

山とハイキングの会

スタートしました！ 土橋 雄次

当会は昨年五月より隔月で十一月まで、に次のように四回行いました。

五月二十二日(晴)

顔振峠 男六 女六名

七月二十五日(晴)

秩父礼所巡り 男八 女二名

九月八日(曇・霧雨)

棒の峰 男四 女〇名

十二月二十七日(晴)

鎌北湖 男四 女二名

出来るだけ多くの方々に参加してい



ただけるように初級コースを選びましたが、参加者は増加する傾向にあります。

今年は、忙しい毎日を送っておられる方や、年配の方でも気軽に参加できるコースを計画しようと考えています。

稲門会員・家族のふれあいの場としてハイキングの会をご利用ください。皆様のご参加をお待ちしています。

世話人は私、土橋雄次と久保栄二・小亀輝雄です。ご連絡下さい。(S35・理工)

世話人電話番号(三九三)五七〇八

西北の風

学生時代の専攻は西洋文化でした。ルネサンス時代の芸術・思想に惹かれ勉強したものです。宗教音楽中心の合唱団にも所属し、ミサ曲などを歌っていました。

それが近頃少し興味が変わってきたのです。そう、日本の文化に関心が移ってきました。これって一種のコペルニクスの転回？「あなたも年をとったのね」と友人には軽くあしらわれましたが……

西洋文化から郷土史へ 中村 真弓

休日にはマップ片手に多摩川辺の散策を楽しみます。自然も豊富でゆったりとした気分になれるから。勢い歴史を知るにはまず史料からと、ついには古文書を読み始めました。

こちらに越してきてまだ数年しか経っていません。訪ねてみたいところも知らないこともいっぱいあります。地元密着型の生活もまたいいかなあと。

そんな思いから先日郷土史の会に初めて出席しました。池田宗弘先生による「東村山

よもやま話」ですが、持参された風景画の視覚効果も手伝って、とても面白く聞くことができました。見ることも聞くことも初めてのことはかりでしょう。なかでも「東村山の昔話」は木版の素朴さと暖かさが感じられて見応えがありました。限定版ということなので、普及版を探して手に入るほかにありませんが。

早稲田に学んだ縁の稲門会は地域に親しむ一つのきっかけを与えてくれます。私は後ろからついて行きましょう。(S39・文)

その他の同好会一覧

郷土史の会

会員30名 年3～4回開催
世話人 三宅良太 394-5298

ゴルフ同好会

会員38名 春秋2回+随時
世話人 井垣和太 396-3100

テニス同好会

会員15名 毎月1回開催
世話人 当間昭治 391-6023

絵画同好会

会員8名 指導陣3名 春秋随時
世話人 塩見之一 395-3718

ウォーキング同好会

会員30名 年2回開催
世話人 町田和夫 394-2438

麻雀同好会

会員30名 年4回開催
世話人 小野 智 391-9523

園芸の会

会員20名 年3～4回開催
世話人 三宅良太 394-5298



事務局から

例会へご参加ください

奇数月、第一土曜日に一五時から市民センター等で開催しています。正確な場所はそのつど「稲門会ニュース」でお知らせします。

奇数月には例会講演会を開催

例会の「催し」の一つとして奇数月には色々な分野から専門家を招き講演会を行っています。

「稲門会ニュース」にご寄稿を

毎月発行の「稲門会ニュース」に皆様の原稿をお寄せ下さい。随筆、俳句、短歌、その他、稲門会への要望など何でも結構です。

会員募集と会費納入のお願い

お知らせいまだ未加入の校友には、是非入会をお薦め下さい。又会員の方で年会費三五〇〇円を

未納の方は左記までお振り込み下さい。

郵便口座名義「東村山稲門会」

口座番号 00160-0-112250

会則により慶弔電報をお送りします。該当者、詳細は事務局迄。

新入会員のお知らせ

大野 恵子	S 4 6	文
柿沼 久子	S 3 9	法
清水 聡	S 5 0	法
田代 光一	S 3 8	法
寄本 勝美	S 3 9	政経
一色 泰久	S 4 3	文
飯塚 輝夫	S 2 8	理工
宇津木 弘	H 2	理工院
工藤 貴士	S 5 3	商
沢部昌次郎	S 2 5	政経
高部 素行	S 3 5	理工

田中 貴久	H 1 0	商
中尾 栄一	S 3 1	理工
長谷川 学	H 6	法
藤田 恭司	S 3 2	政経
堀越 恒夫	S 5 2	法
益田 善任	S 3 5	理工
丸本 聡明	S 3 1	政経
宮入 秀光	S 6 0	理工
山室 勲	S 3 1	理工
高橋鶴次郎	S 3 8	理工
石川 武	S 4 8	文

住所・電話・勤務先等の変更は事務局迄ご連絡下さい。

事務局

東村山市恩多町5-24-27
電話(394) 6951

小 亀 輝 雄

校友の弥栄を祈念する毎日

岡原 裕泰 (S39・文)

本年もよろしく。仕事の関係で監査役でありながら例会・総会には欠席がち、塩見先輩にはおんきに抱いて。久米川町一一二自のポストマンの奉仕が精一杯です。(これは事とやっています。)

当会設立発起人会の席、自己紹介「マスコミの職を辞し神職を目指し只今浪人中、熊野神社の境内を毎朝清掃中」を早々に現地確認して下さったのが久世先輩です。奇しき縁で所澤神明社で権禰宜として御奉仕、本物の神職であることを確認に見えたのも久世先輩。神明奉仕も四年目。毎日、朝日供養で國民諸々、とりわ

SHORT

LINE

け校友諸氏の弥栄を祈念しています。

「老」は易く「行」は難し

佐藤 清彦 (S27・一文)

「おなりの老」(文春文庫)という本を書いているせいか、実技にも長じていると思われやすい。そのたびに「老」は「老」であって「行」ではないむねを強調するのだが、それでも疑わしうな顔をする人が少なくない。酔って「歌を囁かせ」と難題を吹っかける人もいる。

実際、平賀源内が発掘した霧降花咲男や、百年前、パリはムーラン・ルージュを満かせた「おなりの人」などを仔細に検討しても、合の手を入れたり拍子をとったりのリズムは

いいが、メロデーとなると、簡単なものでも至難だったらしい。

それでも一人居るときなど、腰部に充実感を覚えると、ひそかに試みることもある。ド、レ、ミ、ファ、ソに聞こえないこともない。たぶん、気のせいだろう。まあいいさ。そこで目を覚めてひびく。

「七つ八つ音はすれども空徳の実の二つたになきを床しき」

無題

長谷川 学 (H6・法)

東村山に引っ越してきてから、もう少して一年になります。小平に住んでおりましたが、子供の成長を機に、昨年二月、一戸建てに移りまし

た。

私は大学進学により新潟から上京し、四年間杉並区阿佐ヶ谷に居ました。そのため、体育で東伏見に行くと、だいぶ田舎にきたような感じがしました。しかし、就職で東伏見より西に住むようになり、今はさらに西の恩多町に落ち着きました。東村山や小平、小金井あたりは校友の数も多く、又かなりの先生方もお住まいと聞いています。昔は早稲田村が都の西北でしたが、今は我が街が「都の西北」のようにさえ思えます。今は健康的に充実した毎日、とても満足しております。

今後、家族共お世話になるのと思っていますが、どうぞよろしくお願ひ致します。

編集後記



喧嘩の二〇〇〇年問題も一段落。日頃、緊張感を喪失した日本人にとってピリッとする締めまる正月でした。

「会報」づくりも四号目、願えるものなら「新しい人に、多くの会員に参加を」をモットーにスタッフは東西に奔走(?)。おおかた好意溢れる協力を頂いて、そのつど胸を撫でおろす。さて、問題は中味。マンネリ畑に「怠惰」の実がチラホラと目立つ。このあたりで再開塾と各種改良が必要、昔から老木にいい実はならぬと云う。

梨、欒、銀意の開拓者来れ!(スタッフ)

梅だより



穏やかに 晴れて元朝 ミレニウム

孫娘 よくぞ健やか 成人の日

千年紀 人を惑わす 迷信を

自然の摂理 見事に糾す

姫のごと 成人着飾る 孫娘

横顔 若き妻の面影

塩見之一 (S25・理工)